

第四期特定健康診査等実施計画

ローソン健康保険組合

最終更新日：令和 6 年 03 月 25 日

特定健康診査等実施計画（令和6年度～令和11年度）

背景・現状・基本的な考え方 【第3期データヘルス計画書 STEP2から自動反映】		
No.1	特定健診及び特定保健指導の基準値を超える実施率の継続 2022年度特定検診実施率に関して、単一健保の目標値である90%を達成 2022年度特定保健指導実施率に関して、目標値である30%を達成	➔ 事業主と連携し特定検診の受診を引き続き促していく。
No.2	肥満解消率 男女ともにBMIデータおよび腹囲が全ての年齢において、IQVIAベンチマークデータと比較して上回っている。	➔ ・対象者の抽出、施策など検討必要
No.3	個別に受診勧奨・重症化予防、医療機関への受診勧奨 ・ハイリスク者の受診状況において、糖代謝における受診者割合と血圧における受診者割合に大きな開きが生じている ・脳内出血の医療費（外来本人医療費）が前年よりも大幅に上昇 ・生活習慣病における若手社員の患者割合が他組合より高い	➔ ・受診勧奨通知後、受診状況の追跡を実施 ・対象者に対してリスクを伝え現状を知ってもらう ・若年層（40歳未満）に生活習慣病リスクを説明して、生活習慣改善により疾病予防するように促す ・高血圧、脂質異常症の重症病予防を追加する
No.4	糖尿病腎症等の生活習慣病の重症化予防の取組1・2 糖尿病性腎症の医療費（外来医療費）は下降傾向にあるものの、さらに悪化した慢性腎不全における医療費の増加は2018年と比べると上昇しているため、現在の傾向を維持できるようにしていく必要がある。	➔ ・糖尿病リスク者の抽出 ・治療中断者は再受診を促すと共に、受診状況を追跡 ・施策参加希望者に対して持続的血糖測定器を用いて自己のライフスタイルの見直し及び専門家の指導を受ける
No.5	3疾患（高血圧症・糖尿病・脂質異常症）の状態コントロール 糖尿病におけるコントロールは外来本人医療費からも確認できるが、脂質異常症および高血圧に関しては、2018年度よりも上昇している 各項目2021年度のIQVIAベンチマークデータを上回っているものの、メタボリックシンドローム階層化レベルは経年で増加傾向にある	➔ ・対象者を抽出、行動変容プログラムを行う
No.6	がん検診の実施状況、結果に基づく受診勧奨 男女ともにがんの医療費（疑い除く）が2018年と比較して2.5倍ほど上昇	➔ 現在実施している大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・子宮頸がんに関して、検診実施 ・対象者への補助等を行う。
No.7	市町村が実施するがん検診の受診勧奨 男女ともにがんの医療費（疑い除く）が2018年と比較して2.5倍ほど上昇	➔ 健保が用意するがん検診の対象外の方（配偶者以外の被扶養者）に対し、地域がん検診に関する情報提供を行う。
No.8	歯科検診・受診勧奨 3年間未受診者が42%おり、各年齢層における歯科医療費も他組合よりも高い傾向にある	➔ 将来的に内容を検討
No.9	歯科保健指導 3年間未受診者が42%おり、各年齢層における歯科医療費も他組合よりも高い傾向にある	➔ ・40歳新規特定保健指導対象者の方に、歯科保健事業の参加を促す。 ・歯科問診・面談を通して、歯科疾患のリスクは健康への悪化に繋がる事を早い段階で気づき、健康寿命を延ばしていくために必要な歯の健康と生活習慣病のリスクの軽減を目的として行う。
No.10	運動習慣の改善 運動習慣に関しては他組合よりも実施できておらず、男性における歩行身体活動に関しては前年よりも未実施者の方が増えている	➔ 運動習慣を促進支援するアプリを使い運動習慣のサポートを実施
No.11	食生活の改善 朝食および就寝前の改善を必要とする	➔ 改善が必要な対象者を抽出し食育などを通じ改善を行う
No.12	睡眠習慣の改善 男女ともに20歳～40歳～までの層で改善を必要とする	➔ ・睡眠習慣の改善にきっかけになるイベントやアプリの導入 ・睡眠習慣改善の働きかけ
No.13	若年層の肥満率増加 男女共にBMIおよび腹囲がIQVIAベンチマークと比較して上回っている。特にU40世代の肥満率増加が顕著。	➔ ・若年層向けの個別保健指導など検討必要

基本的な考え方（任意）

-

特定健診・特定保健指導の事業計画 【第3期データヘルス計画書 STEP3から自動反映】

1 事業名 特定健康診査（被保険者）

対応する
健康課題番号

No.1 , No.2 , No.5



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被保険者
方法	定期健康診断と同時に実施
体制	事業主が実施する定期健康診断に組み込んでいる

事業目標

個人が早期に自分自身の健康課題を把握し、解決・改善に繋げるべく、保健医療行動をとることができる(生活習慣病関連疾患の予防と改善に向け、受診率の向上を図る)

評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
特定保健指導対象者割合の減少		20.5 %	20.2 %	19.9 %	19.6 %	19.3 %	19.0 %
評価指標	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
特定健康診査受診率		100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
・健診事業の事業主との共同実施	・健診事業の事業主との共同実施	・健診事業の事業主との共同実施
R9年度	R10年度	R11年度
・健診事業の事業主との共同実施	・健診事業の事業主との共同実施	・健診事業の事業主との共同実施

2 事業名 特定健康診査（被扶養者・任継）

対応する
健康課題番号

No.1 , No.2 , No.5



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～（上限なし）、対象者分類：被扶養者/任意継続者
方法	①被扶養配偶者・任継被保険者：配偶者・任継健診と同時に実施。 ②①以外：東振協の利用券を送付し、指定医療機関で受診する。
体制	①被扶養配偶者・任継被保険者：4/1時点の被扶養配偶者・任継被保険者へ委託先より健診案内を送付。 ②①以外：4/1時点在籍で①に該当しない40歳以上の被扶養者へ、健康保険組合から健診案内を送付。

事業目標

個人が早期に自分自身の健康課題を把握し、解決・改善に繋げるべく、保健医療行動をとることができる(生活習慣病関連疾患の予防と改善に向け、受診率の向上を図る)

評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
特定保健指導対象者割合の減少		4.0 %	4.0 %	4.0 %	4.0 %	4.0 %	4.0 %
評価指標	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
特定健康診査受診率		60 %	60 %	65 %	65 %	70 %	70 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
①被扶養配偶者・任継被保険者：配偶者・任継健診と同時に実施。②①以外：東振協の健診事業を活用。	①被扶養配偶者・任継被保険者：配偶者・任継健診と同時に実施。②①以外：東振協の健診事業を活用。	①被扶養配偶者・任継被保険者：配偶者・任継健診と同時に実施。②①以外：東振協の健診事業を活用。
R9年度	R10年度	R11年度
①被扶養配偶者・任継被保険者：配偶者・任継健診と同時に実施。②①以外：東振協の健診事業を活用。	①被扶養配偶者・任継被保険者：配偶者・任継健診と同時に実施。②①以外：東振協の健診事業を活用。	①被扶養配偶者・任継被保険者：配偶者・任継健診と同時に実施。②①以外：東振協の健診事業を活用。

3 事業名 被保険者 定期健康診断

対応する
健康課題番号

No.1 , No.2 , No.5



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：15～（上限なし）、対象者分類：被保険者
方法	・各事業主が健診代行機関と契約し、対象者へ案内を実施 ・健診結果は、各事業主経由でXMLデータにて受領
体制	・コラボヘルスの一環として、事業所の法定健診と共同実施（各事業所実施の健診に健保が費用補助） ・オプション検査として、人間ドック(胃部、腹部、肺、眼底・眼圧検査)、婦人科検診(子宮頸がん、乳がん検診)、脳検査(MRI、MRA、頸動脈エコーより2項目以上)を追加できる体制を整備 ・40歳未満の肥満率の把握 ・健診項目の定期的な内容精査を実施 ・補助額の定期的な見直しを実施

事業目標

個人が早期に自分自身の健康課題を把握し、解決・改善に繋げるべく、保健医療行動をとることができる(生活習慣病関連疾患の予防と改善に向け、受診率の向上を図る)

評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
定期健診（被保険者）受診率		100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %
評価指標	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
40歳以下の健診データの取得率		100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
・コラボヘルスの一環として、事業所の法定健診と共同実施・オプション検査項目の充実	・コラボヘルスの一環として、事業所の法定健診と共同実施・オプション検査項目の充実	・コラボヘルスの一環として、事業所の法定健診と共同実施・オプション検査項目の充実
R9年度	R10年度	R11年度
・コラボヘルスの一環として、事業所の法定健診と共同実施・オプション検査項目の充実	・コラボヘルスの一環として、事業所の法定健診と共同実施・オプション検査項目の充実	・コラボヘルスの一環として、事業所の法定健診と共同実施・オプション検査項目の充実

4 事業名

被扶養配偶者・任意継続被保険者健診

対応する
健康課題番号

No.5, No.2, No.1



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：15～（上限なし）、対象者分類：被扶養者/任意継続者
方法	・健保が健診代行機関と直接契約し、対象者へ案内を実施 ・年1回案内 ・未受診者の抽出、未受診者への健診再案内
体制	・被保険者と同様、費用補助を拡充 ・胃部検査(胃部X線or上部消化管内視鏡検査)、婦人科検診(子宮頸がん検診、乳がん検診)をオプション追加できる体制を整備 ・健診項目の定期的な内容精査を実施 ・補助額の定期的な見直しを実施

事業目標

個人が早期に自分自身の健康課題を把握し、解決・改善に繋げるべく、保健医療行動をとることができる(生活習慣病関連疾患の予防と改善に向け、受診率の向上を図る)							
評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	配偶者・任継健診受診率	50.0 %	55.0 %	60.0 %	65.0 %	70.0 %	75.0 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	受診案内数	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
・健診代行機関へ一括管理を委託・期間途中で未受診者への健診再案内・健診項目の定期的な内容精査を実施・補助額の定期的な見直しを実施・健保機関誌等によるPR	・健診代行機関へ一括管理を委託・期間途中で未受診者への健診再案内・健診項目の定期的な内容精査を実施・補助額の定期的な見直しを実施・健保機関誌等によるPR	・健診代行機関へ一括管理を委託・期間途中で未受診者への健診再案内・健診項目の定期的な内容精査を実施・補助額の定期的な見直しを実施・健保機関誌等によるPR
R9年度	R10年度	R11年度
・健診代行機関へ一括管理を委託・期間途中で未受診者への健診再案内・健診項目の定期的な内容精査を実施・補助額の定期的な見直しを実施・健保機関誌等によるPR	・健診代行機関へ一括管理を委託・期間途中で未受診者への健診再案内・健診項目の定期的な内容精査を実施・補助額の定期的な見直しを実施・健保機関誌等によるPR	・健診代行機関へ一括管理を委託・期間途中で未受診者への健診再案内・健診項目の定期的な内容精査を実施・補助額の定期的な見直しを実施・健保機関誌等によるPR

5 事業名

特定保健指導（被保険者）

対応する
健康課題番号

No.1, No.2, No.5



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：その他
方法	・外部委託 ・全面的にICTやアプリを活用したプログラムを実施
体制	・健保保健師が特定保健指導対象候補者を選定→対象候補者の所属事業所に対し、案内可否伺い→対象者確定 ・委託先へ、対象者に関する特定保健指導に必要な情報の共有 ・初回面談や継続支援開始後は、中断者にリマインドを実施し、翌年の特定健診との重複を避けるため、全対象者の支援を年度末で終了させる ・運動習慣を含めたプログラムの追加を検討する。

事業目標

個人が早期に自分自身の健康課題を把握し、解決・改善に繋げるべく、保健医療行動をとることができる(自身の健康状態を自覚し、生活習慣改善のための自主的な取り組みを継続的に行うことができる)。							
評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定保健指導対象者割合の減少	20.5 %	20.2 %	19.9 %	19.6 %	19.3 %	19.0 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定保健指導実施率〔積極的支援〕	55.0 %	58.0 %	61.0 %	64.0 %	67.0 %	70.0 %
	特定保健指導実施率〔動機付け支援〕	55.0 %	58.0 %	61.0 %	64.0 %	67.0 %	70.0 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
健保：事業案内・対象者への案内・進捗管理・途中離脱者への電話による継続依頼 委託先:保健指導の調整、実施結果の健保への報告	健保：事業案内・対象者への案内・進捗管理・途中離脱者への電話による継続依頼 委託先:保健指導の調整、実施結果の健保への報告	健保：事業案内・対象者への案内・進捗管理・途中離脱者への電話による継続依頼 委託先:保健指導の調整、実施結果の健保への報告
R9年度	R10年度	R11年度
健保：事業案内・対象者への案内・進捗管理・途中離脱者への電話による継続依頼 委託先:保健指導の調整、実施結果の健保への報告	健保：事業案内・対象者への案内・進捗管理・途中離脱者への電話による継続依頼 委託先:保健指導の調整、実施結果の健保への報告	健保：事業案内・対象者への案内・進捗管理・途中離脱者への電話による継続依頼 委託先:保健指導の調整、実施結果の健保への報告

6 事業名 特定保健指導（被扶養者・任継）

対応する
健康課題番号

No.1, No.2, No.5



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男性、年齢：40～74、対象者分類：基準該当者
方法	・外部委託 ・全面的にICTやアプリを活用したプログラムを実施
体制	・年度初めに、40～74歳の被扶養者に対し、特定健診と特定保健指導に関する周知実施。 ・健保保健師が特定保健指導対象候補者を選定。 ・委託先へ、対象者に関する特定保健指導に必要な情報の共有。

事業目標

・個人が早期に自分自身の健康課題を把握し、解決・改善に繋げるべく、保健医療行動をとることができる(自身の健康状態を自覚し、生活習慣改善のための自主的な取り組みを継続的に行うことができる)。

評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定保健指導対象者割合の減少	4.0 %	4.0 %	4.0 %	4.0 %	4.0 %	4.0 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定保健指導実施率【積極的支援】	5.0 %	5.0 %	5.0 %	5.0 %	5.0 %	20.0 %
	特定保健指導実施率【動機付け支援】	5.0 %	5.0 %	5.0 %	5.0 %	5.0 %	20.0 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
健保：事業案内・対象者への案内・進捗管理・途中離脱者への電話による継続依頼 委託先:保健指導の調整、実施結果の健保への報告	健保：事業案内・対象者への案内・進捗管理・途中離脱者への電話による継続依頼 委託先:保健指導の調整、実施結果の健保への報告	健保：事業案内・対象者への案内・進捗管理・途中離脱者への電話による継続依頼 委託先:保健指導の調整、実施結果の健保への報告
R9年度	R10年度	R11年度
健保：事業案内・対象者への案内・進捗管理・途中離脱者への電話による継続依頼 委託先:保健指導の調整、実施結果の健保への報告	健保：事業案内・対象者への案内・進捗管理・途中離脱者への電話による継続依頼 委託先:保健指導の調整、実施結果の健保への報告	健保：事業案内・対象者への案内・進捗管理・途中離脱者への電話による継続依頼 委託先:保健指導の調整、実施結果の健保への報告

7 事業名 健診後二次検査 受診状況確認および受診勧奨

対応する
健康課題番号

No.3



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：15～（上限なし）、対象者分類：その他
方法	・被保険者については各事業所が、被扶養者については健保が、健診・検診項目（脳検査除く）において「要精密検査」「要再検査」の判定である者に対し二次検査受診勧奨を実施 ・脳検査については健保保健師が、再検査の必要があると診断されたにもかかわらずその後未受診である者に対し、mailまたは郵送にて受診勧奨を実施
体制	委託業者、事業主との連携

事業目標

重症疾患(心筋梗塞、脳卒中、人工透析等)の発症率低下に向け、健診結果で要医療・要治療の未受診者への対策事業推進により未受診者の減少と重症化予防に向ける。

評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	がん検診項目 要精密検査対象者の精密検査受診率	50.0 %	50.0 %	55.0 %	55.0 %	60.0 %	60.0 %
	脳検査項目 受診勧奨実施者の医療機関受診率	45.0 %	45.0 %	50.0 %	50.0 %	55.0 %	55.0 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	健診・検診項目 受診勧奨実施率	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %
	脳検査項目 健診後未受診者への受診勧奨実施率	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
・委託業者、事業主との連携調整・レセプトでの定期的な受診状況確認	・委託業者、事業主との連携調整・レセプトでの定期的な受診状況確認	・委託業者、事業主との連携調整・レセプトでの定期的な受診状況確認
R9年度	R10年度	R11年度
・委託業者、事業主との連携調整・レセプトでの定期的な受診状況確認	・委託業者、事業主との連携調整・レセプトでの定期的な受診状況確認	・委託業者、事業主との連携調整・レセプトでの定期的な受診状況確認

達成しようとする目標／特定健康診査等の対象者数								
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査実施率	計画値※1	全体	6,556／7,155＝91.6％	6,805／7,423＝91.7％	7,129／7,689＝92.7％	7,357／7,934＝92.7％	7,661／8,166＝93.8％	7,890／8,405＝93.9％
		被保険者	5,657／5,657＝100.0％	5,877／5,877＝100.0％	6,090／6,090＝100.0％	6,285／6,285＝100.0％	6,483／6,483＝100.0％	6,687／6,687＝100.0％
		被扶養者※3	899／1,498＝60.0％	928／1,546＝60.0％	1,039／1,599＝65.0％	1,072／1,649＝65.0％	1,178／1,683＝70.0％	1,203／1,718＝70.0％
	実績値※1	全体	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％
		被保険者	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％
		被扶養者※3	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％
特定保健指導実施率	計画値※2	全体	597／1,144＝52.2％	653／1,187＝55.0％	712／1,230＝57.9％	770／1,269＝60.7％	830／1,306＝63.6％	903／1,344＝67.2％
		動機付け支援	219／446＝49.1％	241／464＝51.9％	262／480＝54.6％	285／498＝57.2％	305／510＝59.8％	338／525＝64.4％
		積極的支援	378／698＝54.2％	412／723＝57.0％	450／750＝60.0％	485／771＝62.9％	525／796＝66.0％	566／819＝69.1％
	実績値※2	全体	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％
		動機付け支援	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％
		積極的支援	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％	-／-＝-％

※1）特定健康診査の（実施者数）／（対象者数）

※2）特定保健指導の（実施者数）／（対象者数）

※3）特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。

目標に対する考え方（任意）
-
特定健康診査等の実施方法（任意）
-
個人情報の保護
当健保組合は、ローソン健康保険組合個人情報保護管理規程を遵守する。 当健保組合及び委託された健診・保健指導機関は、業務によって知り得た情報を外部に漏らしてはならない。 当健保組合のデータ管理者は、常務理事とする。また、データの利用者は当健保組合の保健事業担当の職員に限る。 外部委託する場合は、データ利用の範囲・利用者等を契約書に明記することとする。
特定健康診査等実施計画の公表・周知
本計画の周知は、各事業所に文書で通知するとともに、ホームページに掲載する。
その他（特定健康診査等実施計画の評価及び見直しの内容等）
当健保組合の事務長及び保健事業担当者等については、特定健診・特定保健指導等の実践管理・知識向上のために研修に随時参加させる。